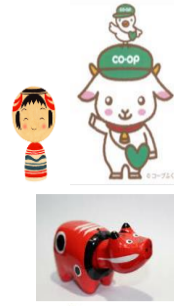


# アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



## 署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/1/26

No. 25

賛同署名総数は 1/25まで	<b>129,068</b>	筆 筆 筆
*オンライン署名	<b>5,804</b>	
*署名用紙署名	<b>123,264</b>	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは  
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の  
海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。  
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。  
HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。



スマホはこちらから

## ◆協力団体インタビュー 東都生活協同組合さん(東京都) 多大なるご協力ありがとうございます!

署名用紙で5,800枚13,000筆を超える署名を送ってくださっている東都生活協同組合さん。取り組みについて組織運営部 荒井 伸幸 部長補佐、橋本好美 組合員常任理事にお話を伺いました。



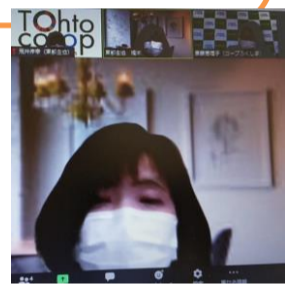
東都生協さんからの署名が届いた箱です。3箱で13,116筆も

Q1,ALPS処理水海洋放出決定の発表を受けて  
⇒A「関係者の理解なしには処理水のいかなる処分も行わない」との約束を反故にして一方的にALPS処理水の処分に関する基本方針を決定したことは重大です。海洋放出方針を撤回し、地元をはじめ国民的論議を通じて民主的な合意形成を図り、近隣諸国や国際社会の理解が得られる処理方針を策定すべきです。この問題について、学習会などを通じて組合員にもお伝えしていくべき内容であると感じました。

Q2,4団体による「ALPS処理水海洋放出に反対する署名」について  
⇒A非常に早い段階で東京都生協連、神奈川県生協連などから署名取り組みについてお声掛けを頂き、東都生協としても7月理事会で実施を決議しました。全国の生協や漁協などと共同した取り組みとなり、力を合わせていきたいと思いました。



Q3,どのような方法で署名活動を進めたか  
⇒A具体的な方法については紙での署名用紙配布回収に加え、みやぎ生協・コープふくしまの署名ページを東都生協ホームページにリンクバナーを貼り付け、組合員がダイレクトに電子署名が行えるようにしました。  
《用紙&オンライン双方からのアプローチありがとうございます。たくさんの方に行き渡るよう工夫していただき感謝です》



Q4,署名推進に向け工夫した点、苦労した点  
⇒A(役職員)役員、組織運営部職員、組合員理事については、みやぎ生協・コープふくしま野中本部長のオンライン学習会に参加。組合員に対してはALPS処理水海洋放出に関する学習会を先行して実施できなかった為、一部組合員からは分からないので何とも判断できないという声もありました。追いになりましたが、組合員向けにもみやぎ生協、コープふくしま野中本部長による学習会動画URLを頂き、希望組合員が視聴・学習できる対応を行いました。  
⇒A(組合員)・地域委員会や連絡会の場で学習資料を元に説明しました。・組合員からの質問にはその都度組織運営部へ問い合わせるなどして対応しました。・学習会で学んだことに自身の感想を加えて説明しました。・署名用紙を実際に見せながら説明し、署名を呼びかけました。・連絡会(地域の活動団体が参加する会議体で情報交流などの場)資料にも1枚ずつ署名用紙を入れました。・組合員活動情報誌Yuiにも記載があったことで意識づけにつながったと思います。・学習会のみならず、自ら政府政策や報道から情報収集し、署名呼びかけの際説明に努めました。  
《自分の言葉で説明することが難しい問題ですが、しっかり伝えてくださっている様子が目に浮かびます》

Q5, 署名運動に対する組合員さんの反応は?  
⇒A・ニュースなどで知っている人も多く「反対です」「署名に協力します」という声が多かったようです。・ほとんどの人が「署名に協力したい」との反応だったが、一部「学習してから協力したい」という人もいました。・組合員向け学習会開催がなかったため、署名していいかどうか悩む人もいました。・東都生協の理念「いのちとくらしを守る」に照らし合わせて「積極的に署名したい思いになったと思う」という声もありました。・こういう大事なことにはスピーディーに動いてほしいという声も出ていました。  
《組合員さんの意識の高さに感動です。ありがとうございます。》



Q6,呼びかけ団体、ふくしまへのメッセージをお願いします。  
⇒A・東都生協の組合員はふくしまに関心を持ち続けて応援していきます。・一人ひとりが我が事として考えていかなければと思います。・これ以上国の誤った舵取りの犠牲になることは許せない。組合員へ伝え続けられる応援をしていきます。・福島県産を意識して購入するようにしています。実害なのに風評被害にあわれたこの10年のご心痛を思い、自分ができることは何か考えていきます。・たくさんの方にこの問題を伝えていこうと思っています。  
《一言一言が胸に響き、目頭が熱くなります。心に灯がともるメッセージありがとうございます》

◇署名用紙配布数に対し10人に1人が署名に協力して下さった計算になる筆数にただただ感服です。インタビューの中でくりかえし登場した「自分事」。東都生協の理念が組合員一人一人の心にしっかりと根付き、役職員みなさまの思いが組合員さんに伝わっているのを感じました。東日本大震災発災直後から被災地東北に寄り添ってくださり、節目において「福島を忘れない」取り組みを実施して下さっている東都生協さん。温かいお言葉、たくさんのお名前をありがとうございました。インタビューにご対応くださった荒井さん、橋本さん貴重なお話ありがとうございました。



●Instagram投稿しています。  
「COOP\_fukushima」で検索 フォローをお願いします。

●署名提出予定の案内  
経済産業省・東京電力への署名提出ですが、2月上旬の予定で進めてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大(全国的なまん延防止等重点措置適用)の状況を鑑み延期とさせていただきます。感染状況にもよりますが3月をメドに再度調整をさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

<情報・お問い合わせ先>  
みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部内  
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局  
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F  
TEL024-557-1181 FAX557-5359 \*mail:sn.f10243sn@todock.coop(根本)



<編集後記>erikoのつぶやき  
落ち着いたと思ったのも束の間、コロナウィルス感染拡大再びです。来るぞ来るぞとは思っていましたが...ささやかな収束期間は儚かったですね。ご多分に漏れず東京で暮らす息子も陽性になり自宅療養期間を経験しました。区から届いた食料支援品の中には、バックご飯やレトルトカレーに加えお菓子やコーヒーなどの嗜好品も含まれていてビックリ。なるほど、確かに体調が回復してきたらお菓子も食べたくなり、コーヒーも飲みたくなりますよね。元気になっても外出NG。買い物できないから先回りしての配慮。ニーズが変化することを踏まえての支援に思わず感嘆の声が漏れた編集者でした。

